

新興国レポート

# インド新型コロナウイルスの感染拡大続く

## 追加利下げ期待等が下支えしインド株式は比較的落ち着いた動き

- ▶ 4月26日のインドの新型コロナウイルスの1日当り新規感染者数は約35万人に達した。
- ▶ 感染拡大にも拘わらず、RBI（インド準備銀行）の追加利下げ期待等を支援材料に、インド株式（SENSEX指数）は比較的落ち着いた動きとなっている。
- ▶ 感染拡大にピークアウトの兆しが見え始めるまで、インド株式は現状の48,000を中心とするボックス圏で推移するものと思われる。

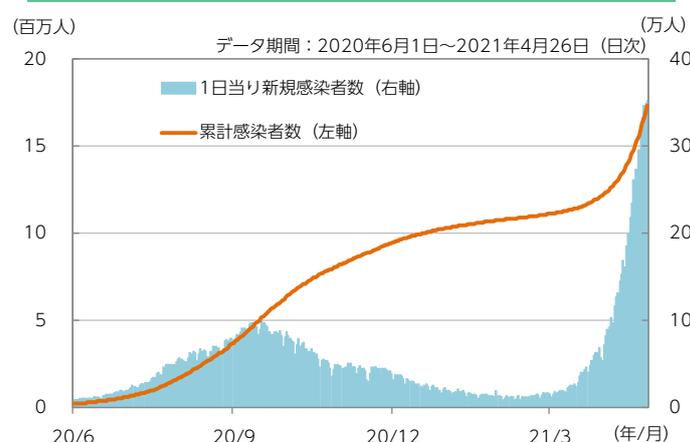
### (1) 1日当たり感染者数急増

- インドでは新型コロナウイルスの感染が急拡大しています。従来よりも感染力が強いとされる変異型ウイルスの広がり等で、4月26日の1日当り新規感染者数は約35万人に達し、その数は米国を超えて世界最多水準となっています。4月5日に10万人を超えてから20日間程度で約3.5倍に増加しています（図表1）。デリー首都圏政府は4月25日、19日から開始し、26日早朝に終了予定であった都市封鎖を、5月3日早朝まで1週間延長すると発表しました。
- インド政府はワクチンの接種普及を進めています。4月25日時点の累計接種回数は約1.39億回と、米国の約2.29億回、中国の約2.25億回に次ぐ多さですが、接種率は8%台に止まっています（図表2）。感染が拡大しにくくなるとされる「集団免疫」に必要な人口の7割以上の水準を大きく下回っていることも感染拡大に影響しているようです。
- インドでの感染拡大が世界に広がる懸念が高まっていることから、バイデン米政権は25日、医療器具提供等の支援を表明しました。英国やEU（欧州連合）等も支援の意向を示しています。

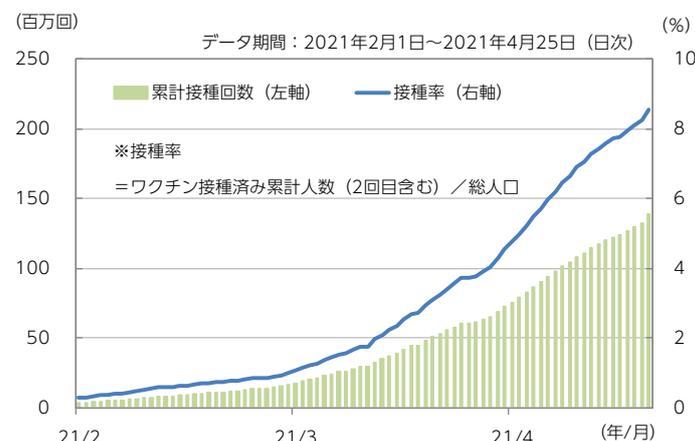
### (2) インド株式の動向と当面の見通し

- 新型コロナウイルスの感染拡大にも拘わらず、足元のインド株式は比較的落ち着いた動きとなっています。都市封鎖等による景気や企業業績の悪化懸念が重荷となる一方、RBIの追加利下げ観測を受けた金利の低下や、インド政府の追加経済対策期待等が支援材料となっているようです（図表3）。
- インド株式は、感染拡大にピークアウトの兆しが見え始めるまで、現状の48,000を中心とするボックス圏で推移するものと思われます。尚、感染拡大で都市封鎖の動きが広がる場合等は、下値を探る展開になることも考えられますが、米国等の支援表明が下支えし、深押しは避けられるものと見ています。

図表1：インド新型コロナウイルス感染状況



図表2：インドでのコロナワクチン接種状況



図表3：インド株式と同国10年国債金利の推移



出所) 図表1~3はCEIC、ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>